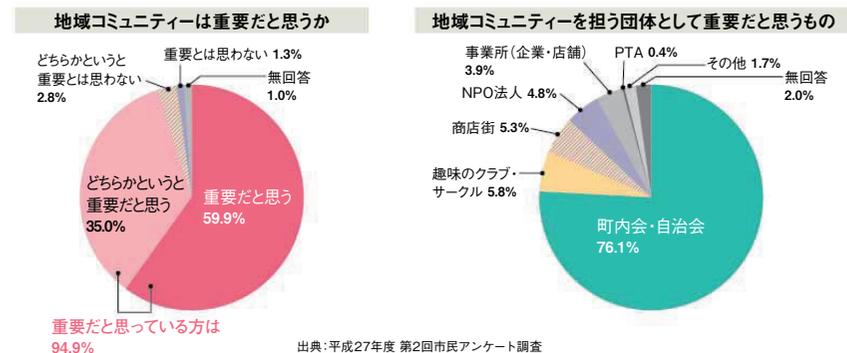


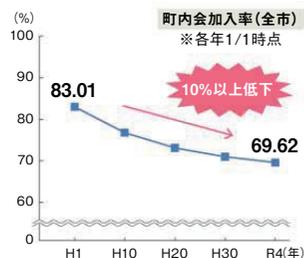
■多くの方が町内会を重要だと考えています

いざというときに頼りになるのは、近所に住む知人や友人。アンケートでは多くの方が、地域の住民同士のつながりである地域コミュニティを担う団体の中で、町内会が重要だと回答しています。



■一方で、町内会を取り巻く環境は厳しい状況です

市内の町内会加入率は、世帯構成や生活様式の変化などによって下がり続けており、このままでは活動が停滞し、地域の活力が低下することが危惧されます。また、多くの町内会では、役員の高齢化や担い手不足などに悩んでおり、いずれは町内会の存続自体が難しくなる可能性もあります。



《もし町内会がなかったら…?》こんなことになるかもしれません

この道、街路灯が消えていて暗くて怖いな…



ごみが散乱している! どうしよう…



ご近所さんに会える夏祭り、ないのかな…



日々の暮らしで当たり前になっていることの中にも、町内会の活動が多くあります。だからこそ今、町内会の大切さに目を向ける必要があります。

◀次のページから、地域のために活動する人々を紹介します

暮らしを支える町内会

私たちが住む地域での暮らしを支えている町内会。今回の特集では、町内会の方へのインタビューを通して、町内会が地域で行っている活動を紹介するとともに、新たに制定を検討している町内会に関する条例についてお伝えします。

[詳細](#) 市民自治推進課 ☎211-2253

■町内会はさまざまな活動をしています

町内会ごとに違いはあるものの、地域に根ざして広く活動している町内会。その活動は、地域に住む全ての人々の暮らしと密接に結び付いています。

町内会活動の例



街路灯の設置・管理



ゴミステーションの設置・管理



地域のお祭りやレクリエーション



清掃活動



通学路の見守り



除排雪

活動を通して 地域の安全を守ることで 住民の笑顔を守る

桑園地区連合町内会

地域の安全を守るため、防犯に力を入れている連合町内会。活動する上で大切にしていることなどを聞きました。



防犯防犯部長
井下 正晴さん

地域の安全のために始めたパトロール

自分の住む地域に恩返しをしたいと思い、町内会で行っている地域のパトロール活動に参加しています。子どもが1人になりやすい夕方の時間帯や人通りの少ない場所などは、重点的に見回るようにしていますね。今後のことを考えると、学生などの若い人たちと一緒に見回りできれば良いのではないかと思いますので、これからも活動の大切さを伝えていきたいです。

危険な場所に防犯カメラを設置

桑園地区連合町内会では、市の助成制度を利用して防犯カメラを設置しています。設置する場所は、不審者情報や実際にあった被害情報などを基に決定。住民の方にはカメラを設置する必要性を丁寧に説明しながら進めています。子どもをはじめとして、地域の皆さんが安心して生活することができるよう、市や警察、学校などとの連携を強めていきたいです。

市から町内会への支援を強化 / 防犯カメラの購入・設置

誰もが安心して暮らすためには、防犯への取り組みも大切です。市では、防犯カメラの購入や設置の費用を助成。地域の防犯を一層強化するため、昨年度から設置台数の上限や限度額を引き上げています。

助成対象	R2年度	R3年度
購入・設置	1台16万円、 4台まで	1台18万円、 8台まで
撤去・再取り付け	対象外	1台10万円、 8台まで

詳細区政課 ☎211-2252

札幌市 防犯カメラ 助成 検索



深掘り! 「地域を守るパトロール活動」

井下さんは、警察から証明を受けた団体が活動できる「青色回転灯自主パトロール隊」として定期的に地区内を巡回。活動中に小学校にも立ち寄り、不審な人を見かけなかったか、何か変わったことはなかったかなどを確認しています。巡回用の車に張られた目立つシールも、防犯に一役買っているのだとか。



生活や防災の観点から 町内会が必要と考え、 新たに設立

東かりきひかりの町内会

2017(平成29)年に設立した比較的新しい町内会。町内会を立ち上げたきっかけなどを聞きました。



会長
川北 光晴さん

撮影時のマスクを外しています。

ごみの管理のために町内会を新設

私が住み始めた時は、まだ周りには住宅が少なく、町内会がありませんでした。気付けばそれぞれ何となくごみを出す場所はあるものの、ルールはなく、清掃が行き届いていない状況に。このままではいけないと思い、町内会設立の発起人の1人になりました。今では当番を決めて、早朝に折りたたみ式のごみステーションを開く、汚れている場合は掃除をするといった活動をしています。

災害時の「共助」の考え方もきっかけに

町内会を立ち上げたもう一つの理由は、東日本大震災から得た「共助」の学びです。当時、多くの報道で、地域の住民同士の助け合いがあったために避難ができた方の話を耳にしました。改めて災害などの際に大切となる、顔の見える関係性をつくる場の一つとして、町内会は必要だと思いました。当時200世帯近くを手分けして訪問して、町内会への加入をお願いして回りました。

市から町内会への支援を強化 / ごみステーション管理器材の購入

生活の上で欠かせないごみステーション。市では、その管理器材の購入費の2分の1を助成しています。さらに、本年度から助成額の上限を引き上げ、支援を強化しています。

助成対象	R3年度	R4年度
ごみ飛散防止ネット	5千円	1万1千円
カラスよけサークル	7千円	1万6千円
折りたたみ式箱型器材	1万2千円	3万円
箱型・物置型ごみステーションの敷地内設置	1万5千円	5万円

詳細環境事業部業務課 ☎211-2916

札幌市 ごみステーション 助成 検索



深掘り! 「地域の清掃活動」

新型コロナウイルス感染症が広がる中、例年実施している地域の一斉清掃などの活動はやむなく中止。しかし、そのような中でも何かできることはないかと考え、町内の美化活動の一環としてボランティア袋の配布と清掃強化週間の設定などにより、会員の方々に美化協力をお願いしました。

▶区役所、清掃事務所などで公共の場所の清掃用として配布しているボランティア袋



地域を支える町内会の存続のために、条例の制定を検討しています

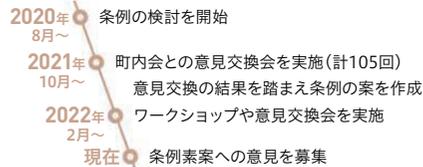
市では、「(仮称)札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」の検討を行っています。現在、条例素案に関するパブリックコメントを実施中。皆さんからのご意見を募集しています。

条例の目的

地域コミュニティの中心的存在である町内会の意義や重要性を、町内会、地域住民、事業者、市が共有し、一体となって町内会を支えていくことで、より豊かで明るく暮らしやすいまちを未来の世代につないでいくこと

- 町内会への支援
- ・町内会への加入促進
 - ・経費負担の軽減
 - ・町内会への理解を深めるための啓発活動 など

条例の検討過程



ご意見はこちらから

区役所、まちづくりセンター、市役所13階市民自治推進課、ホームページなどで配布中の条例素案をご覧の上、7/29(金)(必着)まで。

札幌市 町内会条例 検索



町内会活動の参考に /

回覧板の電子化導入の手引きを新たに作成

町内会の情報をより早く伝えるため、従来の紙の回覧板に加え、回覧板の電子化を取り入れ始めた町内会も。市では、回覧板の電子化を導入した町内会の事例などをまとめた冊子を作成。ホームページで公開しているほか、7/25(月)から区役所などで配布する予定です。

札幌市 活動のヒント 冊子 検索



町内会に加入するには

マチトモ^{ナビ}で住所などを入力すると、お住まいの地域の町内会や加入方法などを確認できます。

このマークが目印 /



札幌市 マチトモ 検索

町内会から始まるまちづくり

町内会は、私たちの普段の生活を支えているだけではなく、災害などいざというときに協力し合える、地域の大切なつながりです。一方で、加入率の低下や担い手の確保などに苦労されており、これからも皆さんが快適に暮らしていくためには、一人一人が町内会活動に関わり、支えていくことが大切です。まずは町内会の行事に参加してみるなど、できることから始めてみませんか。

札幌市長 秋元 克広



皆さんに地域の良さを伝え続けたい

藻岩地区町内会連合会

地区の魅力を知ってもらうため、ホームページを開設した町内会連合会。活動にかける思いなどを聞きました。

※表紙左下の写真は会長と関係者の皆さん



撮影時のみマスクを外しています

むらかみ 剛
会長 村上 剛さん(前列中央)と役員、関係者の皆さん

ホームページで地域の情報発信

いつでも地域の情報を手軽に得られるようにしたいと考え、町内会のニュースや住民の方へのインタビュー、地区の魅力的な風景などをホームページで公開しています。住民の方からは、改めて地域の良さに気付けたと好評ですよ。



もいわ暮らし 検索



活動仲間を増やす「もいわ塾」

1年前にホームページを開設しましたが、見てもらうために一番大切なことは更新を続けること。そのためにはホームページの運用に協力してくれる人を育てる必要があると思い、本年度から「もいわ塾」という、取材の方法や文章の書き方などを学べる講座を始めました。学生など若い人も参加してくれているので、ゆくゆくは彼らと一緒に藻岩地区の魅力を発信していけるとうれしいですね。

深掘り! 「20年以上続く子育てサロン」



藻岩地区にある中ノ沢町内会では、毎週月曜に町内の会館で子育てサロンを実施。子どもの遊びの場としてだけでなく、参加者同士の情報共有や友人づくりの場として多くの方に親しまれ、20年以上続いているそうです。この日も、始める前にはおもちゃを消毒するなど、感染対策を講じて行われていました。